



濁りがひどいときは、清流が瀬川、大雨の後、建設が激しダムの建設が激し

地元業者の廃業を懸念

町長 育成の観点から配慮する



議員 丹 邦敏

問 一ツ瀬川濁水について、シジミ、アユは壊滅状態となっているが。

町長 濁水により激減となっていることは確認しています。

問 濁水をなくすためには、濁水の放水を中

止することが必要と思うが。

町長 県、九電を中心に対策がなされてきています。

問 町発注の建設工事について伺う。近年地元業者の廃業が多く、このままではなくなることを懸念しているが、その対策は。

町長 地元業者を育成する観点から、地元業者に配慮します。



議員 下村 豊

問 訴訟事件で、親がお願いした件、町長は挨拶の認識と答弁されたが実際の状況は。

町長 畜産祭りで出会

訴訟を調査して町民報告を

町長 和解条項を実施検証

問 一言二言、相手がどういう形で言ったのか別ですが、私はそういう風に認識しています。

町長 元職員の病気について報告はあったか。

町長 私は報告はありません。

問 しっかりと調査して町民へ報告するのか。

町長 和解条項をしつかりやり、検証をして、色々取組みをします。

問 F-15増強の動きがあるが、防衛省・基地と友好的であって欲しい。防衛省に何を要望に行ったのか。

町長 議長と一緒に進めてきました。これまでの諸問題が解決していないので、これをやっていたきたいと要望してきました。

問 事業所数と一般廃棄物の処理状況は。

町長 709事業所の存在を確認しました。事業所併用住宅では、

家庭ごみで処理されるケースもあり適正処理について啓発します。

問 処理方法を条例化して、届け出制にしてはどうか。

環境水道課長 条例化で法律を上回るものは厳しいものがあり、十分検討するべきだと思います。

その他の質問で、追分分校跡地利用は、町で検討を継続します。

国民健康保険税については、収納率が11月末現在で昨年度を上回っており、医療費は昨年度を下回っています。

問 等級格付けについて伺う。県でCクラスが町ではAクラスにあるが、県との関係、また町として特別な指導があるのか。

町長 県との関係は全く実績評価において格付けしています。

問 発注額がAクラスが多くBクラスが少なく差があるので、分割で発注するよう要望する。

問 騒音対策は目視調査、町民アンケートに

基づき国へ要望するよう求める。

町長 議会と一緒に進めて要望することになります。

問 国家賠償法の内容についての認識は。

町長 一項は公務員が故意又は過失の違法によって損害を加えた時は町が賠償する。二項は公務員に故意又は重大な過失がある時はその公務員に対し町は求償権を有するとあります。



各飛行隊の編成、航空基地、共同、基合、原隊、田飛行、新飛行

男女共同参画推進懇話会の進捗は

町長

町男女共同参画推進委員会を設置



増永逸雄 議員

問 本町でも、男女共同参画推進懇話会を立ち上げられ進んでいることと思います。その進捗状況について伺います。

町長 9月定例議会において計画に関わる補正予算の議決をいただ



婚活の風景

きました。早速策定の準備を進めているところです。計画策定及び施策の推進を図るため庁舎内に「新富町男女共同参画推進委員会」を設置しました。

町長 町の計画策定状況とプランが出来上がるのはいつですか。なぜ当初予算で策定しないのか。

状況を見ながら早く策定をしなければと判断し補正予算を組んで取り組みました。

問 農業の家族協定締結者が少ない中で、女性の社会参加を積極的に促すことにより、地域活性化グループが生まれる。男女共同参画社会の参加の異議が高まり、公選によって農業委員会にも女性委員が登場するのではないかと考えるが。

町長 農家の方で活躍されており、その中でステップを踏みながら自ら農業委員に手を上げていくための環境を作って行きます。農業委員会会長 女性を共同者と位置づけるため、家族協定締結を促進し、農業経営の確立を図り、女性の社会参加を支援して、地位向上ができれば女性農業委員の登用が可能と考えます。

農業振興対策の進捗は

町長

畜産業の再建を軸に



三浦千尋 議員

農業を取り巻く環境は口蹄疫発生や気候変動、担い手不足による

荒廃地増への懸念がある。全国ベースの農家所得の昨年対比は、2.2%に対し、本町は約

10倍の20%減にあり、基幹産業である農業、野菜の町しんとみ、としてこれで良いのか。強い思いを持って質問と致します。

町長 第5次長期総合計画の中の農業振興対策の進捗は。



収穫時期を迎えている新富そば

の再建を軸に担い手の確保、農産物の高付加価値化、新規市場開拓、収益性と安定した発展を図るために、復興対策、足腰の強い畜産業を目指す。新規市場開拓は検討模索中であります。

町長 採卵鶏を除いて5〜6割程度。今後生産コスト減や高付加価値な販売戦略確保に努めます。

問 新規就農者数が少ないが。

町長 後継者減少と合わせて、将来性が低いとの判断と考えます。

問 本町農業の総生産額の6割を占める畜産振興策について。

町長 飼料用稲、米粉、飼料作物、そば、なたね、麦、施設野菜等々で交付金総額約3億円強であります。



J R 建設地、JR九州側から本町の生産者に相談が持ち上がったのがスタートであり、用地の確保等を

J R九州ファームへの期待は

町 長

J R九州と連携し販売拡大に期待



比江島義秋議員

〔問〕 農業生産法人「J R九州ファーム宮崎」新富町で設立、その経緯を伺いたい。

〔町長〕 県が窓口となり、J R九州側から本町の生産者に相談が持ち上がったのがスタートであり、用地の確保等を

行った結果、ピーマン栽培をすることが正式に決定しました。

〔問〕 町の農業にJ Rの参入は、どんな影響を与えるのか。

〔町長〕 省エネ化が図られ生産コストの縮減に努めたモデル的な施設であり、他のハウス栽培農家に刺激を与え、本町の農業に活力を与えるものであります。

〔問〕 J R九州ファーム

「ム宮崎」に期待するのは何であるのか。

〔町長〕 安定した生産と出荷価格での有利な販売、J R九州との連携で博多駅の施設等での販売促進、農産物直売所の開設等、販売拡大に期待できると考えます。

〔問〕 農地法改正のねらいは何なのか。

〔町長〕 農地制度を「所有」から「利用」に転換し「貸しやすく、借りやすい」制度で農地が最大限に利用される

ことを目指しています。

〔問〕 農地法の主な改正内容は。

〔町長〕 個人が農業に参入しやすく、株式会社で農地を借りられる規制の緩和、農業生産法人の要件緩和、逆に農地転用規制の厳格化、遊休農地対策の強化です。

〔問〕 本町の遊休農地面積は。

〔町長〕 本年度、田17ha、畑21ha、再生利用の支援と解消を図ります。

老人クラブ活動支援策は

町 長

加入促進・リーダー育成に取り組む



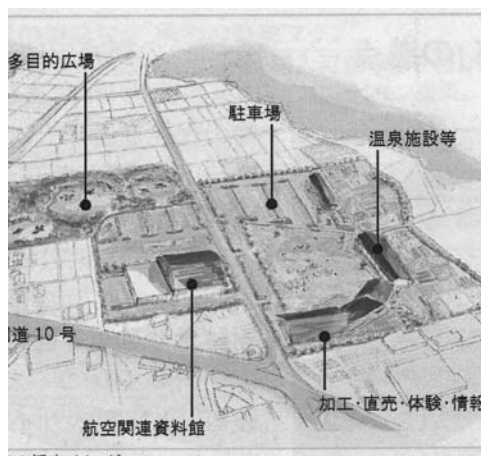
高野賢治 議員

〔問〕 老人クラブ活動支援策は。

〔町長〕 これから高齢者社会が一層進む中で意義あるものと考えてお

り、今後新規会員の加入促進・リーダー育成などに取組み、老人クラブの活性化が図られるよう努めます。

〔福祉課長〕 単位老人クラブへ年間4万6千円助成し、町老連へ年間42万8千円の助成を行っています。



スカイパーク構想の一部

〔問〕 基地対策について。

〔町長〕 国に対して、電気料金の助成、住宅防音工事に付帯する戸別の太陽光発電の助成を要望してまいります。

〔問〕 国民健康保険事業の現況と取り組みは。

〔町長〕 年度途中であるが、前年度と比較した場合、保険税の収納率は良好に推移し、医療費も3%減となっております。国保の現状の周知、特定検診・がん検診の受診向上、医療費の適正化、健康寿命の延長を対策の柱として取り組んでまいります。

〔問〕 スカイパーク構想の進捗状況は。

〔町長〕 航空自衛隊新田原基地をメインの空の拠点とし、更に点在する基地周辺財産を有効に活用しながら、既存の豊かな自然や地域資源を生かした「里」や「海」等をサブ拠点化し、その整備を進めます。

〔まちおこし政策課長〕 今後については基本構想・実施設計について口蹄疫復興ファンドで進めるが、防衛事業も取り組みながら進めて参ります。

要望活動

11月7日・

8日に掛けて、民主党道休事務所を通じて防衛大臣政務官宮島大典氏、及び防衛省地方協力局次長島田和久氏、又、自民党江藤事務所を通じて自民党国防部会長武田良太代議士に対し町議会から11名が参加して陳情・要望活動を実施しました。以下に要旨を報告します。

住宅防音工事の約束は

○ 防衛大臣政務官

議会要望要旨

平成19年日米共同訓練受入に際し、平成5年の告示後住宅防音工事等の解決に向けての約束が果たされない中で、このたび唐突に飛行部隊の改編という案内があった。騒音に対するの町民の大変な思いを解決するためにも24年度補正予算並びに25年度予算で取組んでいただきたい。

告示後住宅問題は良く承知

回答 日頃から航空自衛隊が御支援いただいておりますことに御礼申し上げます。今回の改編については、松島基地の甚大な被害、教育体制の見直しの必要性から重ねて御理解を頂きたい。告示後の住宅問題があることは良く承知していることであり、今後とも意思疎通をさせていただき取りくませていただきます。

○ 防衛省地方協力局次長

協定や覚書はどう考えているか

議会要望要旨

米軍再編について新富町と結んだ協定書や

覚書について今後どうの様に考えているか、10機増となる飛行教育航空隊の認識を聞きたい。

騒音解決が最大の問題全力で取組む

回答 今回の意見書についても内容を拝見し、非常に厳しい案件だと受け止めている。騒音解決というのが最大の問題であり、告示後住宅の防音問題、過去行われた復旧工事や改修を望むということとを認識している。必要な予算について、概算要求しているものについてとはとにかく頑張つて要求し、今後の諸問題解決に向けて全力で取組んで参りたい。

○ 自民党国防部会長

防衛省は本場にその自治体が求めるものに對して、しっかりと答えられるスキーム・制度がまだ整っていない。



自民党国防部会へ要望の様子

騒音問題を含めいろいろな問題を集約して解決できる新たな制度を地方協力局に作り上げることが自民党として決まっている。

米軍再編時の未解決の案件に対して防衛省は具体的な解答を示さなければならぬ。国防部会として対応します。このことでありました。

その他、質疑応答の中では、入札問題で発注形態の変更について・人口減少について・防音工事の未処理案件について・経済効

果を生むような施設建設について・解決するための解答にタイムスケジュールを含めた具体的な解答にすること・事業発注の時期の前倒し等について意見交換しました。

今回の要望では私たちのスタンスは飛行教育航空隊改編に対する要望ではなく、あくまでも米軍再編時に取組んだ協定書に沿った取組みがあつて、かかるべき後に交渉のテーブルに乗りたいたいということでありました。

(高野賢治)



防衛省へ要望活動の様子

議会報告会のご案内

- 1 日時
平成25年2月15日（金） 午後7時から
- 2 場所
新富町 中央公民館 1階 大会議室
- 3 テーマ
新富町の課題・問題点等について

今回で3回目になります。

議員一同、皆様のご来場をお待ちしています。

特別委員会を設置

新富町議会は、本会議において、「議会活性化特別委員会」の設置を全会一致で可決しました。目的は、地方

分権の進展に伴い、地方議会は議事機関及び地方公共団体の意思決定機関として、その果たす役割がますます重要になって来ています。このため、本委員会は、

議会活性化で情勢変化対応

社会情勢の変化に対応しながら、町民の付託に応えるべく議会活性化の方策を調査検討するものであります。

委員は議長を除く全員（13名）で、委員長に小嶋副議長、副委員長に倉永豪修議員を選出しました。

議会研修会

町のため何がベストか考えよ

新富町議会は、新潟県立大学の田口一博准教授を講師に招き、6月に続き今年度2回目となる議会の改革・活性化に向けた勉強会を開催しました。

11月1日は、川南町において、本町、川南町及び都農町議会と合同で、議会の役割と議員の責務、議会基本条例における反問権及び議会で議論するためには、という内容で研修を行いました。

議会議員としては町のために何がベストか考えること。町民は具体的な意見は出さない

がモヤモヤと思っていることから政策を作ることが議員の役割である等。また、反問権の反問については、町長部局との信頼関係が大切なこと等のアドバイスがありました。更に、議員間で町民の前で議論する場を作ること、議会へ町民の参加を求めること、町民全体が議会を支える体制を作ることの重要性を説かれました。

翌日は本町において、川南町議会と合同で、地方分権と議会改革と題して、議会基本条例等制定後の各議会の取り組み状況ということ、

ありましたが、各議員とも熱心な取り組みでありました。二日間に及ぶ講義で、

（議会活性化特別委員会委員長 小嶋崇嗣）

議会基本条例の制定手続き、公布と施行及び評価について研修を行いました。

条例の制定は、議会だけで作るのではなく、検討過程を町民へ知らせることの重要性や公開の場での審議が大切なこと、制定だけで終わらないように、実際の執行をよく考えておくこと等のアドバイスがありました。

町民の皆さん、地方自治法の中身は、着実に地方分権に向けて改正が続いております。今後地方自治体は、自己責任・自己判断の機会が多くなり、地方議会の役割は一段と重要になってきます。時代の流れに遅れないように改革と活性化を進めてまいりますので、町民の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



11月2日の議会研修会の様子

カ・メ・ラ・探・訪



▲自主文化事業・第12回町民ミュージカルのオープニング(平成24年12月22日)



▲富田中学校吹奏楽部の演奏=新富町文化会館(平成24年11月17日)



▲まつりしんとみで踊る園児たち(平成24年11月23日)

▲シンビジュウムの花言葉
華やかな恋、高貴な美人、誠実な愛情、深窓の麗人、飾らない心、素朴
(出典:花言葉辞典)



▲たばこ廃作で栽培が始まった白ねぎの収穫=上新田

■発行責任者／新富町議会議長 長濱 博

町民の声

議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

毎朝、宮崎方面への車の量を見た時、町内に働く場所があればと強く感じます。新富町は基地のある町、隊員家族が沢山生活されています。積極的な企業誘致で働く場所をつくり、町内で十分生活出来る生活パターンになれば、土日の商店街を人が歩いている状況になるかも。

下富田 M・Kさん

年の瀬に安倍内閣が誕生、より良き生活を願ってやみません。私も仕事や子育てに追われ、あつという間に還暦。振り返ると40年間書き留めた記録が大学ノート9冊、自分史を綴ることが出来ました。これからも続けていきます。健康に感謝し希望輝く1年に。上富田 Y・Kさん

不自由な身体になったが、元気な頃に新富町にお世話になり有り難かった。恩返しが出来なかった。飛行機は少々うるさいけれど、今を生きている私も新富町を愛し、誇りに思っています。これからも年を重ねていきたい。

上新田 S・Mさん

編集後記

12月議会は衆議院議員選挙の関係で、閉会が遅くなりました。議会が閉会になってから忙しいのが広報委員会です、約一月で議会広報紙を発行するのを目標にしています。

今、本稿を書いているところですが、先の衆議院議員選挙後に開会された国会で、首相指名の放送がありました。新政権の手腕に大いに期待したいところです。

平成になってから、バブル崩壊、不景気、デフレ、所得低下と右肩下がり、加えて大災害の時代です。年末の政権交代、平成25年は巳年、実年になればと願っています。

豊

議会広報編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

下村 豊
阿萬 誠
永友 繁
倉永 豪
高野 賢
増永 逸雄

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139

■印刷／あゆみの里